

## 5 - 2 東海・南関東地域の地震活動（1987年11月～1988年4月）

### Seismic Activities in the Tokai and Southern Kanto Districts (November, 1987 - April, 1988)

気象庁 地震予知情報課  
Earthquake Prediction Information Division  
Japan Meteorological Agency

第1図(a)～(f)は、1987年11月～1988年4月までの東海・南関東地域における震源の深さ90km以浅の月別震央分布であり、第2図(a)・(b)は1987年11月～1988年1月と1988年2月～4月の3ヵ月間ぐとの震央分布である。

この期間、特に注目された地震活動としては、昨年12月17日に千葉県東方沖で発生したM6.7の地震、本年3月18日の東京都東部におけるM6.0の地震及び2月14日～23日と4月25日～30日にかけて伊豆半島東方沖で発生した群発地震であった。この伊豆半島東方沖の2月と4月の活動における最大地震は、前者がM4.7（2月20日）で後者がM2.6（4月30日）。これらの活動についてはそれぞれ別項で述べる。各地の主な地震活動は次のとおりである。

#### 〈東海地域〉

静岡県：全体として東部に比べ西部での活動が活発、北西部で本年1月14日にM3.5、南西部で1月16日にM3.1、中部で2月27日にM3.2、東部ではM3.0以上の地震発生はない。駿河湾～東海沖：湾内では特に目立った活動はなく、東海沖で昨年11月29日にM3.1（はるか沖）、本年1月19日にM3.6（はるか沖）、4月4日にM3.8（はるか沖）と11日にM3.0（御前崎南沖合）。愛知県：北西部での活動が他地域に比べ低調、留勢湾北部沿岸で昨年11月14日にM3.5とM3.3（同じ場所）、北部で本年1月25日にM3.3及び3月3日にM3.5と12日にM3.2、南西部で3月11日にM3.1の地震発生。

#### 〈東海地域周辺〉

伊豆半島東方沖：昨年5月6日～6月4日にかけての群発地震以来、特に目立った活動もなく経過して来たが、本年2月14日から地震活動が活発化、有感を含む多数の地震が発生した（最大地震M4.7、震度の最大3、20日04時50分）。この活動は24日にはほぼ平常状態となったが、余効的な活動はその後もしばしばみられた。そして、4月25日に再び活動が活発化したが、翌月1日にはほぼ収まった。活動のレベルは2月のものに比べ低く、有感及びM3クラス以上の地震発生はなかった（最大地震M2.6、30日14時24分）。詳細は別項参照。神奈川県：西部での活動が東部に比べ活発、西部で昨年11月3日にM3.1、北部で本年2月18日にM3.5。また、相模湾の北西部では昨年11月にM1～2クラスが数個まとまって発生したほか、中部でも12月12日にM4.0の地震。伊豆大島近海：昨年11月21日にM3.2と16日にM3.7及び12月12日にM3.0。新島～神津島近海：神津島南西沖で本年3月3日にM3.1、このほかM2クラスも時おり発生。新島北西沖では本年4月20日から活動が活発化、20日にM4.2が発生、その後も群発性の地震活動は続き5月12日に再びM4.2、4月20日から5月13日までの震源決定地震数は31個、このうち有感は5回で震度の最大は2（3回）、この付近では1936年にM6.3の被害地震が発

生している（死3・負傷70のほか物損）。三重県：北部で昨年11月1日にM3.3のほか本年1月8日にM3.0と4月24日にM3.6（伊勢湾北部沿岸部）、南部で本年4月15日にM3.0と30日にM3.1。また、熊野灘でも本年2月10日にM3.8の地震。山梨・長野・岐阜県：山梨県では東部で本年3月19日にM3.6。長野県では北部で昨年11月28日にM4.2、東部で同年11月13日にM3.8と本年1月26日にM3.2、西部で本年1月27日にM3.4と4月16日にM3.4。岐阜県では北東部で昨年11月29日にM3.2と12月18日にM4.6及び本年1月25日にM3.2、南部で昨年12月16日にM3.9、南西部で本年1月7日にM3.1、北西部で本年4月13日にM3.0の地震。その他：東京都東部で本年3月18日にM6.0（別項参照）、被害発生、この余震活動はしばらく続いた。また、東京湾北部でも1月18日にM4.1。千葉県では中部で本年4月1日にM4.6、同県東方沖では昨年12月17日にM6.7（震害有り）の地震が発生し、活発な余震活動が続いた（別項参照）。なお、この東方はるか沖で本年3月18日にM4.1のほか銚子付近で2月13日にM5.2と3月13日にM4.1。茨城県では南西部で昨年12月10日にM4.0、南部で本年2月21日にM4.1。房総半島南東沖では本年1月25日にM4.2と27日にM4.1、2月3日にM5.0。八丈島北東沖では昨年11月4日にM4.3と12月30日にM4.2、本年3月31日にM4.4。滋賀県北部で本年1月23日にM3.1。福井県北部で昨年12月13日にM4.0と本年4月28日にM4.5。奈良県北部で昨年12月1日にM3.6。和歌山県北西部沿岸で昨年12月12日にM4.7と本年1月25日にM4.1の地震発生。

第3図は1987年1月から12月までの1カ年間における震央分布を示したものである。

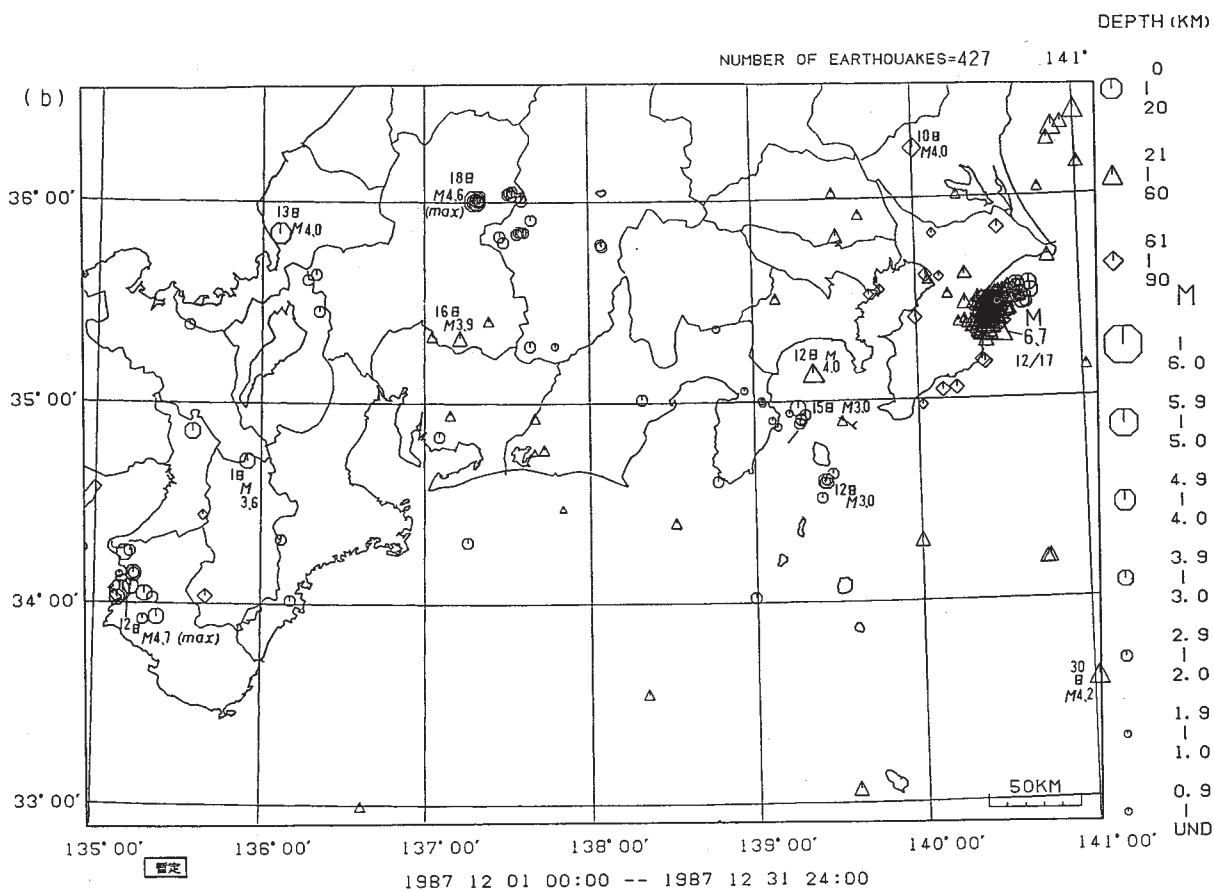
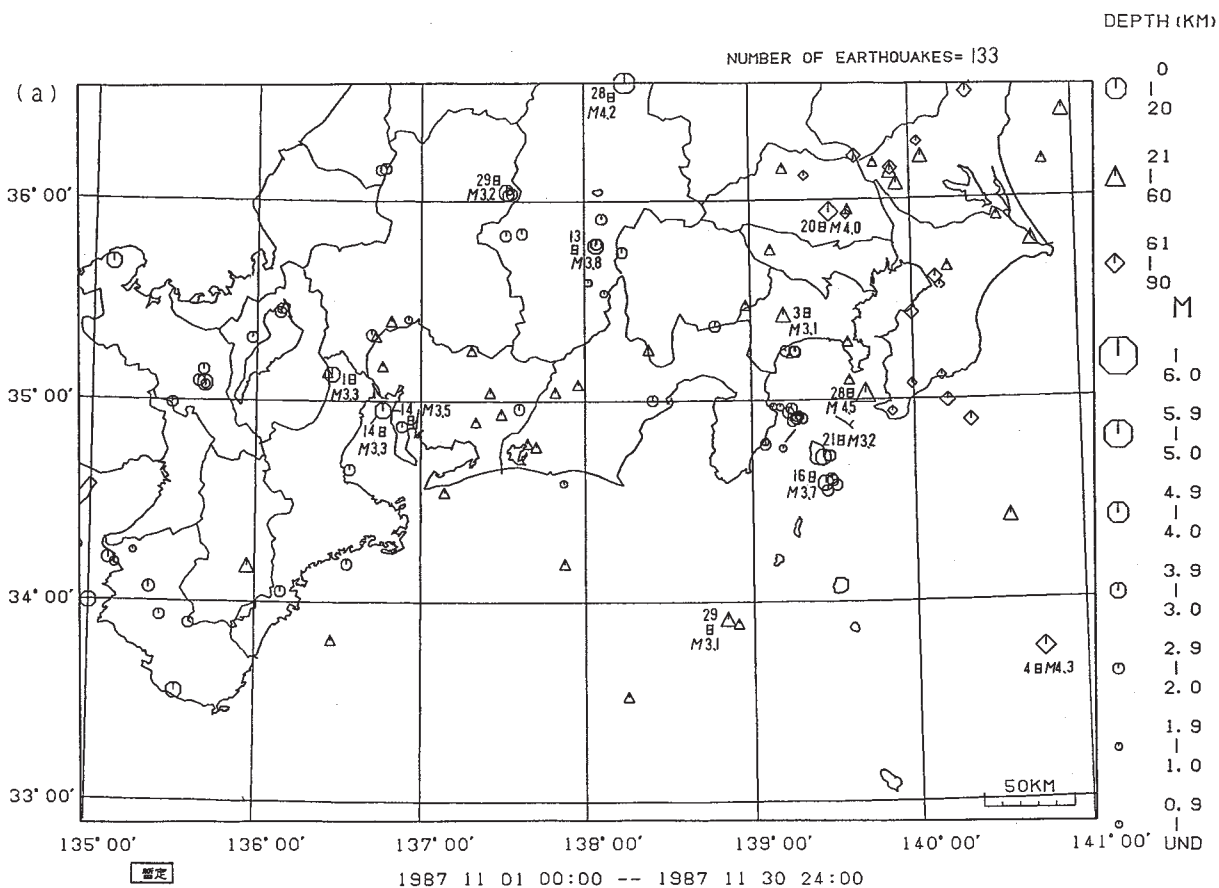
〔注〕：震央分布図に示されるプロット地震の内容（基準）変更について

1988年1月1日から、東海・南関東地域の震央分布図に示されるプロット地震の内容（基準）が次のとおり変更となった。これは、地震活動等総合監視システム（EPOS）の整備と気象庁及び関係機関（東大・名大・防災センター）からのデータ集中の強化が行われ、東海・南関東地域の震源決定能力が向上したためである。

〈変更の内容〉

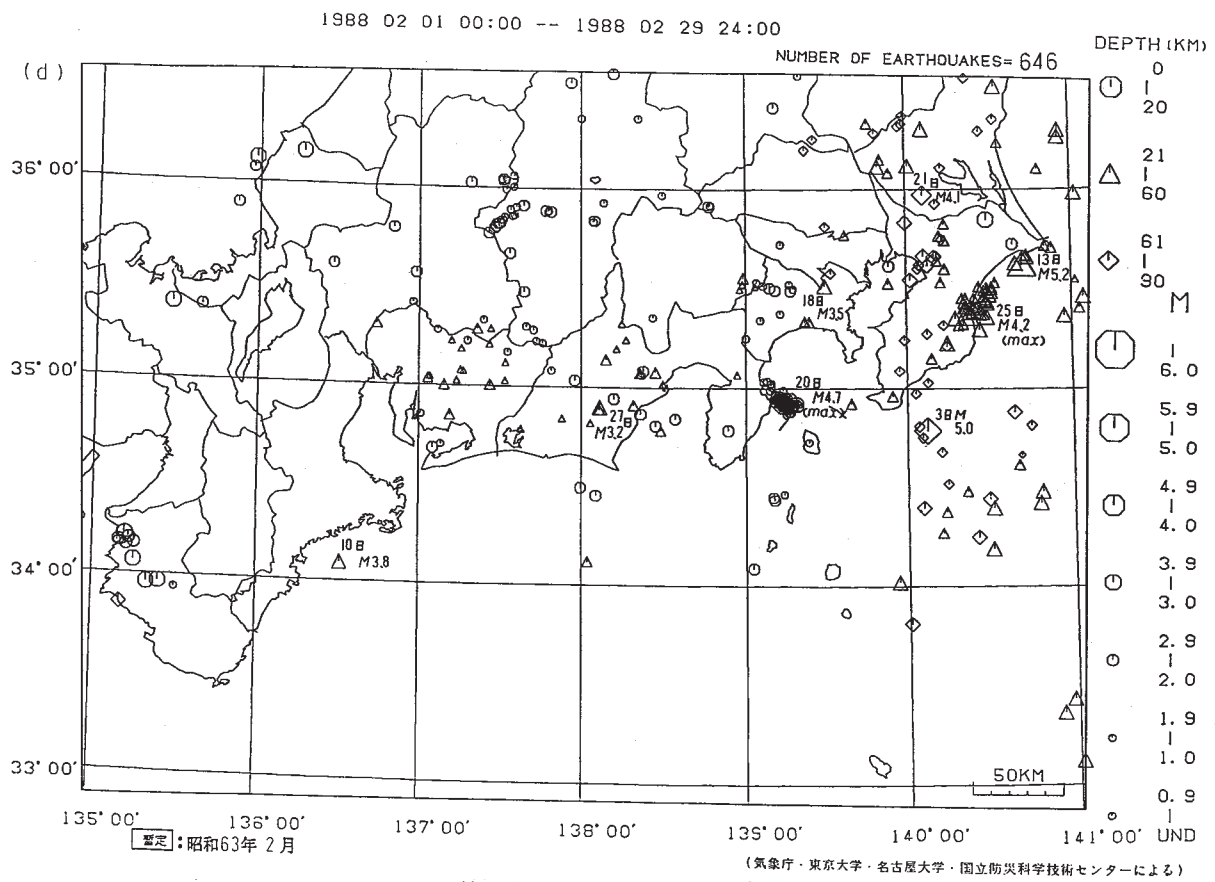
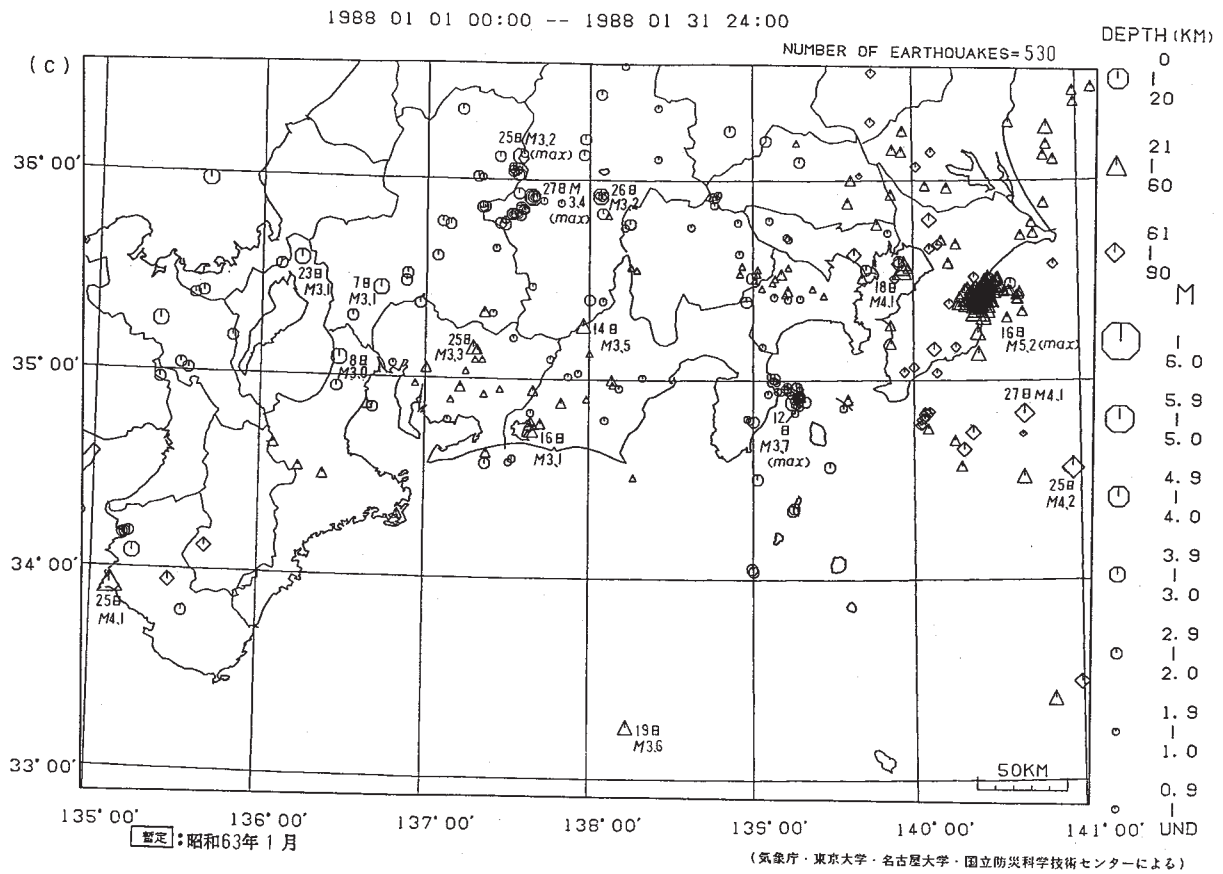
これまで、気象庁のみの監視網により決定可能な程度の地震を対象として震央分布図を作成してきたが、本年から強化された新監視網による震源決定結果により震央分布図を作成したが、これまでよりも規模の小さな地震を含むことになるため、プロット地震数は増える結果\*となる。図の利用に際してはこの点に留意されたい。また、これにかかわる図表等についても同様である。

\*；平均的にはこれまでの約3倍近くのプロット数になるとみられる。



第1図 (a) ~ (f) 東海・南関東地域に発生した地震の月別震央分布  
(1987年11月~1988年4月)

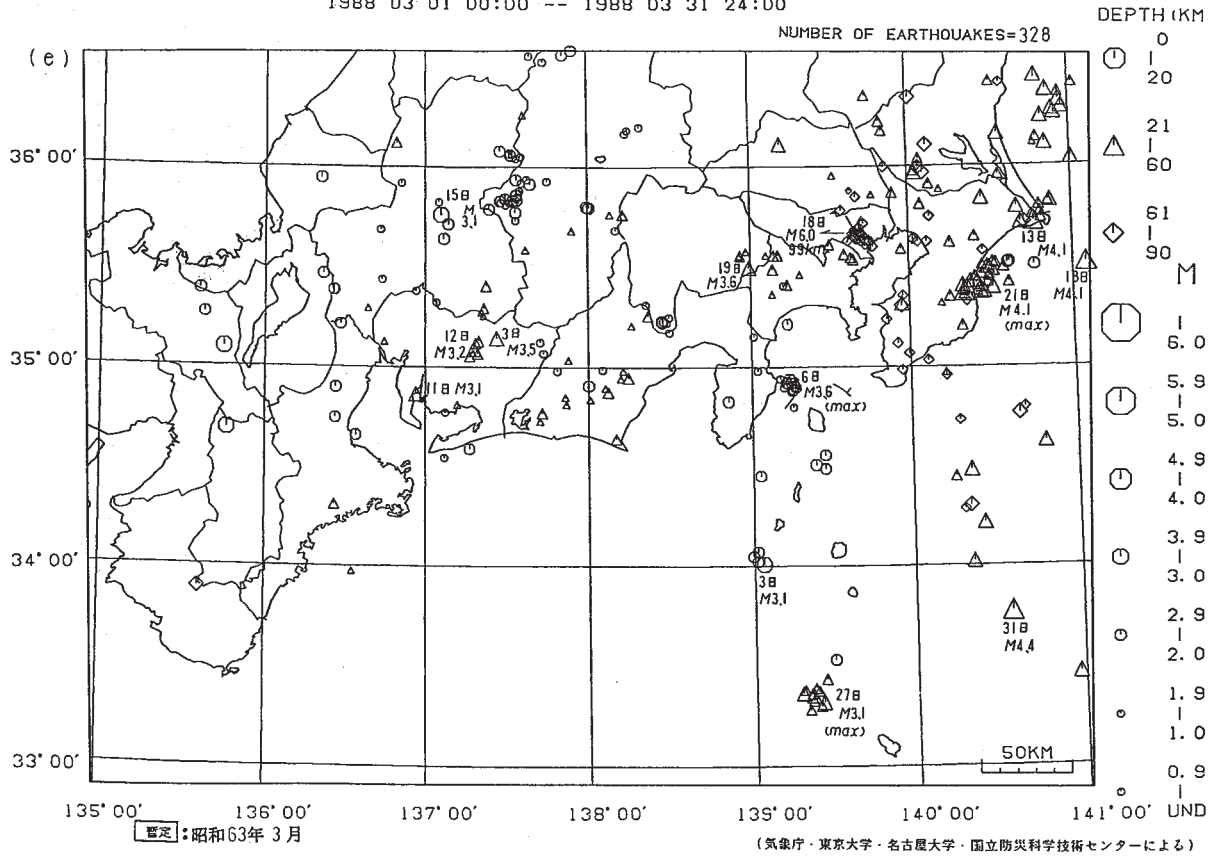
Fig. 1 (a)-(f) Monthly distribution of epicenters in the Tokai and Southern Kanto Districts, November, 1987 - April, 1988.



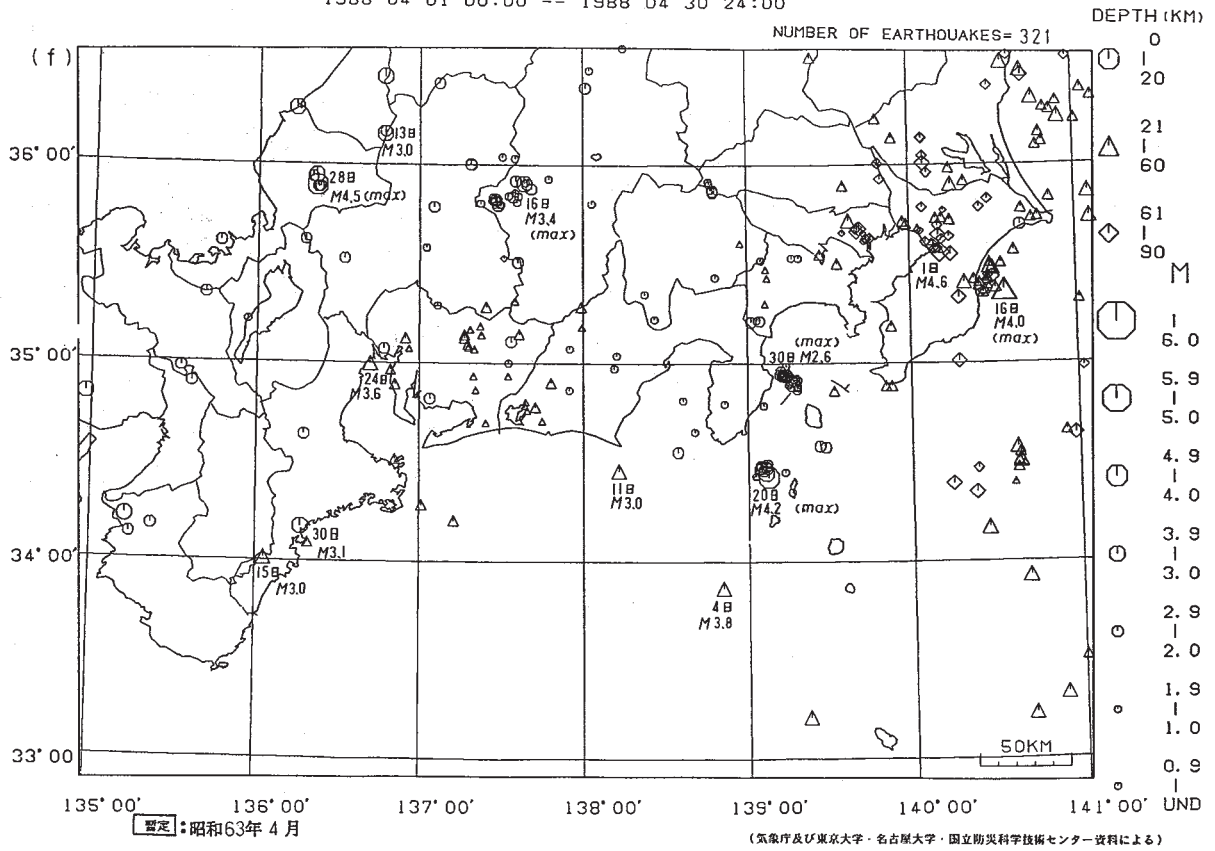
第1図(a)~(f) つづき

Fig. 1 (Continued)

1988 03 01 00:00 -- 1988 03 31 24:00



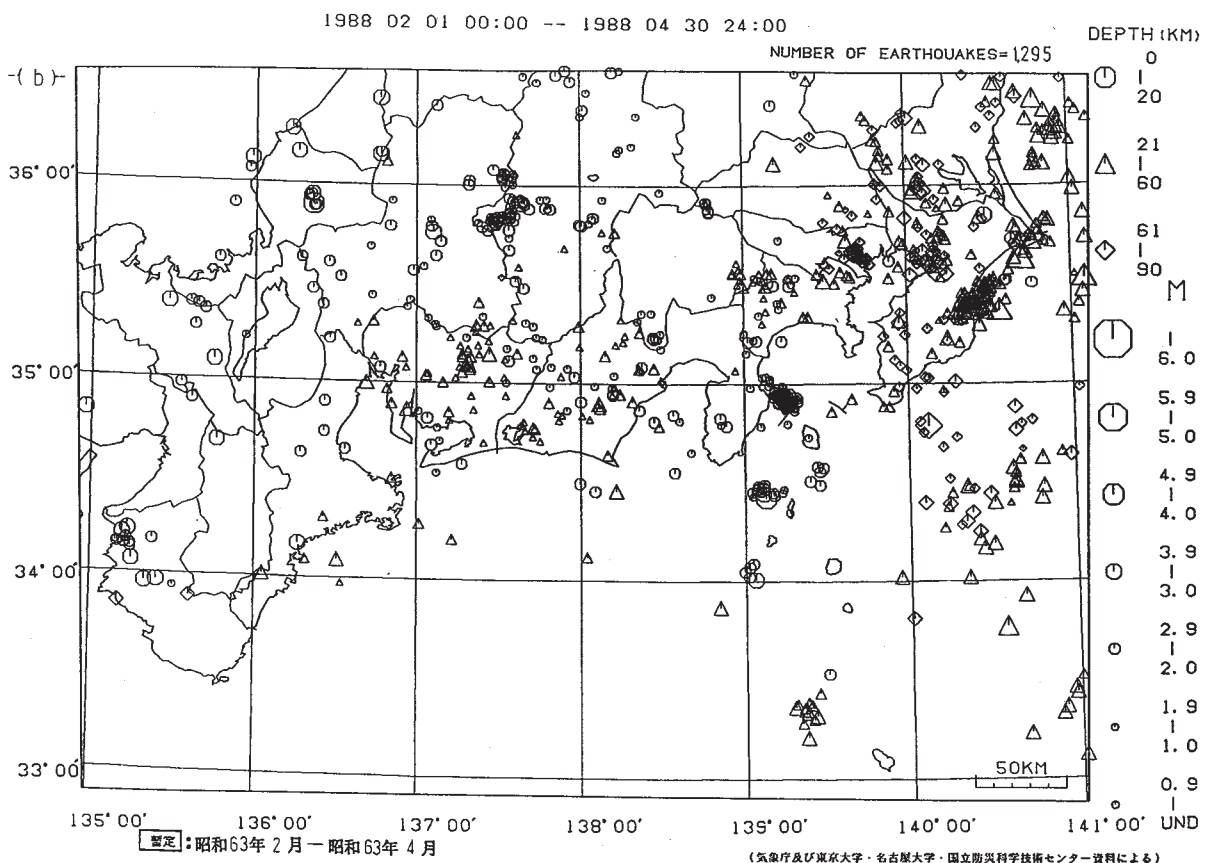
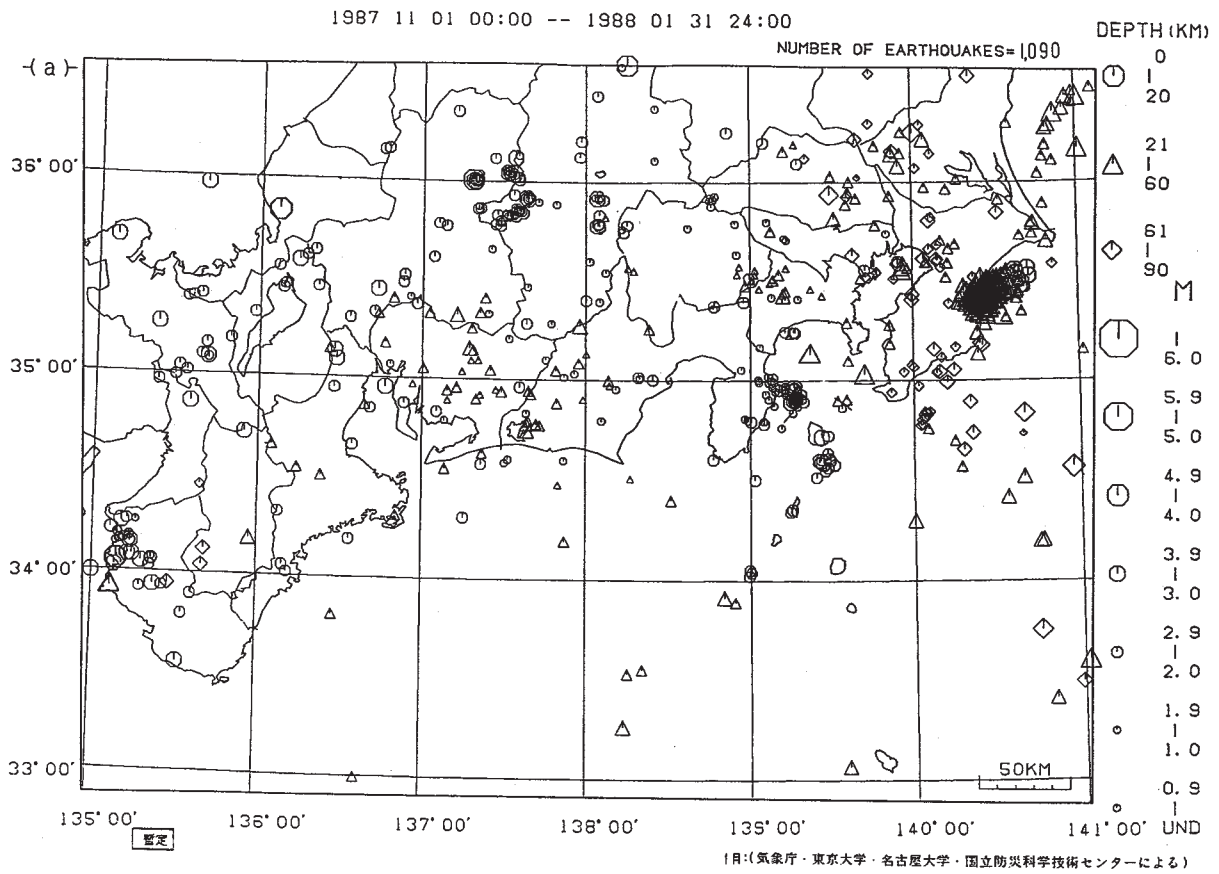
1988 04 01 00:00 -- 1988 04 30 24:00



第1図(a)~(f) つづき

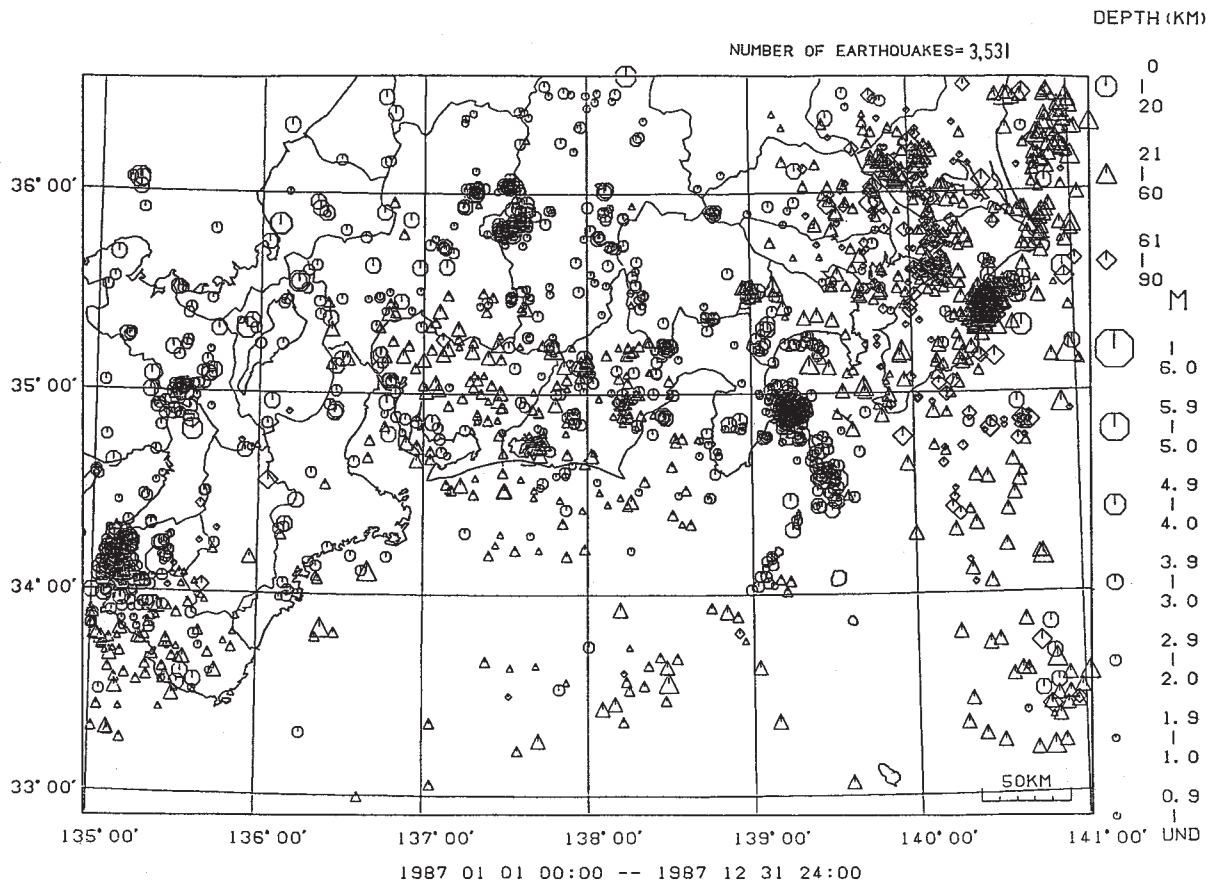
Fig. 1 (Continued)





第2図 (a), (b) 1987年11月～1988年1月および1988年2月～4月の3ヵ月間の東海・南関東地域に発生した地震の震央分布

Fig. 2 (a), (b) Distribution of epicenters in the Tokai and Southern Kanto Districts in the periods of November, 1987 - January, 1988 and February - April, 1988 respectively.



第3図 1987年1月～12月の東海・南関東地域に発生した地震の震央分布

Fig. 3 Distribution of epicenters in the Tokai and Southern Kanto Districts, January - December, 1987.